

## PI 外環沿線協議会「狛江市地域ごとの話し合い」結果について

1. 開催日時 平成 16 年 8 月 7 日(土) 14:00 ~ 15:30
2. 開催場所 狛江市谷戸橋地区センター
3. 出席協議員 国土交通省 川瀧 弘之 山本 悟司  
東京都 道家 孝行 邊見 隆士  
狛江市在住 橋本 妙子  
狛江市 大川 宗男
4. 参加者 54名(市内41名、調布市4名、世田谷区8名、その他1名)
5. 次 第 (1)外環の経緯等について説明(国土交通省)  
(2)協議員から意見表明  
(3)意見交換・質疑応答
6. 参加者の主な意見

## 【必要性】

- ・物流の観点から外環は本当に必要な高速道路なのか疑問がある。
- ・物流拠点等から車の流れをシミュレーションし、もう少し緻密な検討を行うべき。
- ・必要性の議論は、市民が判断できる材料がそろってから行うべき。
- ・環境アセス以外に総合的なアセスを実施し、必要性の議論はそのデータ等を見ながら判断すべき。
- ・外環の他に都心の交通渋滞等を解決する方法はあるのではないかと。
- ・30分前後の時間を短縮するために、外環を造る必要があるのか疑問である。
- ・建設費1.2兆円をかけてまで必要なものなのか。地下水、環境等の問題を考え合わせると、本当に必要なのか不安。
- ・地下トンネルは維持管理面等で疑問が多い。

## 【環境】

- ・地球温暖化が進む中、環境影響評価方法書に排気口の二酸化炭素等、気温上昇に関する調査項目がないのが疑問。
- ・地下方式は水脈、環境等で疑問がある。

## 【地下水】

- ・環8井荻トンネルができた後、地下水の枯渇等の問題が発生したと聞いたが、外環も地下水問題がおきるのではないかと。

## 【安全性】

- ・先の新潟や福井のような大雨が降ったら、ジャンクションやインターチェンジから地下トンネルに水が入るが大丈夫なのか。
- ・異常気象から各地で大水害が起きており、地下トンネルは怖いと思う。
- ・東京湾の水がトンネルに入ると水没する。もっと様々な調査をすべき。
- ・トンネル内で火災等が起きた場合の安全対策は大丈夫か。

#### 【情報提供】

- ・国土交通省から出されている「みなさんの声」は市民の質問等は記載されているが、その回答はない。まずは、これに回答すべき。
- ・市から生活再建救済制度に関する情報が来ない。
- ・生活再建救済制度について市はどう考えているのか。
- ・計画地内に住む当事者には、情報をきちんと出してほしい。
- ・まず必要性ありきではなく、止めようと思ったら勇気を持って止めると言えるような態度で検討し、その後、止めなくて済む道路だという手順で説明してほしい。
- ・外環に関する情報が不足している。
- ・外環ができれば市民にとって、どのような利便性があるのかわからない。説明が不足している。
- ・環8井荻トンネルの換気塔から出る排気ガスは、周辺にどのような影響を与えているのか。そのような調査はされているのか、またデータはあるのか。
- ・外環は換気塔が計画されており、環8井荻等参考になるデータを開示して説明すべき。そのような説明なしではいつまで経っても議論は前に進まないのではないか。

#### 【PI】

- ・外環計画に意義がないと社会的に判断された場合というのは、どこからの判断で決めるのか。
- ・PI協議会等の住民参加は行政主導で進んでいく印象がある。
- ・オープンハウスの説明は詳細で親切だが、こんな道路が確実にできるというイメージを植え付けられそうに感じる。
- ・オープンハウスを見ていると、もう事業を行うのかと感じる。
- ・将来、外環を使い建設費を払う立場になる若い人が意見を言える場を設定してほしい。また、意見を聞き取っていただきたい。
- ・環境の変化は起こしてほしくないが、地域エゴではなく東京全体の現状を考え、許される範囲のなかで協力しよう、というくらいの議論を進めるべきではないか。

#### 【事業費】

- ・事業費はどれくらいか。経済効果等はあてにならず、事業費の捻出、償還等の問題解決が最初。

#### 【ルート】

- ・大深度地下ならば昭和41年のルートにこだわらず、最も環境を破壊しない最短のルートという選択肢もあるのではないか。ルートについてPI協議会で討議しているのか。
- ・環境アセスメントを行い、野川の生態に影響を与えることがわかった場合、ルート変更はあるのか。